

平成 29 年 9 月 14 日

土木学会 舗装工学委員会

「アスファルト舗装設計小委員会」 委員公募

1. 設立目的

我が国の舗装技術は、これまで車道舗装を中心に発展してきた。車道舗装の計画、設計、施工、維持修繕、供用性評価等については「舗装管理システム」として体系化され、技術的にはかなりの水準にまで達した。

道路舗装が有するこれらの機能は、交通の用に供しながら相当期間にわたり維持していくためには、交通荷重および降雨や日照など自然条件の作用に対する耐久性を確保することが必要である。そのためには、舗装の基礎となる路床がこれらの荷重を十分支持できるよう、適切な構造の舗装を構築し、表層からの交通荷重を分散するとともに、温度変化や降雨などの自然環境の作用に耐えることができるように舗装する必要がある。

舗装には通行機能を確保するだけでなく、周辺環境との調和も必要であることから、各種の舗装材料が使われている。舗装の設計法は、選択した路盤材料や表層・基層材料に合わせて過去の経験に基づく方法や理論設計に基づいて設計する方法が一般的であり、その構造が妥当であったかどうかを耐久性、機能性、景観性等の観点から検証した例は少ない。

このようにアスファルト舗装の設計では、取り組むべき課題が多く、新設や維持管理における理論設計方法の実施例が少ない。

本小委員会は、大型交通や季節変動などを考慮した理論設計手法の確立と設計事例の構築などを行い、舗装標準示方書の改訂に反映させることを目標とする。

2. 活動内容

- (1) 設計における信頼性に関する研究(H12.6～H14.5)
- (2) 舗装設計に関する研究(舗装設計小委員会)(H14.6～H24.5)

3. 活動予定期間

平成 29 年度から 5 年間

4. 成果の公表

「舗装標準示方書」平成 33 年版改訂への反映

5. 委員構成

委員長候補：吉村 啓之（前田道路株式会社）

幹事長候補：未定

委員への希望者は、氏名、連絡先、e-mail を吉村 啓之 yossy@maedaroad.co.jp にご連絡下さい。